

左官工法用 粉体型速硬性ポリマーセメントモルタル

CSモルタル #100PS

用途

- … コンクリート表面の被覆
- … コンクリート欠損部の断面修復

概要

- … 速硬セメント、粉末樹脂（アクリル系）、骨材、繊維、特殊混和剤をプレミックスした製品です。

形態	密度	荷姿
プレミックスモルタル	2.9 g / c m ³	25 k g / 袋



特長

- ① 現場で水と練り混ぜるだけで、安定したポリマーセメントモルタルができます。
- ② 短時間で実用強度が得られます。また、長期の強度発現性も良好です。
- ③ 適度な可使時間があり、作業性に優れています。
- ④ 繊維で補強されていますので、ひび割れやはく離に対し十分な抵抗性を発揮します。
- ⑤ 物性は長期にわたって安定しており、耐久性、耐候性、凍結融解抵抗性に優れています。
- ⑥ 特殊な工法は必要なく、施工が容易にできます。

標準配合

（水／#100PS=17%を標準とします。）

	#100PS	水	練上り量	水粉体比
1 k g 当り	1 k g	0.17 k g	約 0.55 L	17.0% (水／#100PS)
1 袋 当り	25 k g (1袋)	4.25 k g	約 13.7 L	
1 m ³ 当り	1,825 k g (73袋)	310 k g	1,000 L	

※ 水／#100PS=17% を標準としますが、適度な施工性が得られるよう、水／#100PS=16~18%の範囲で調製してください。

性能

● CSモルタル#100PS：標準配合による試験結果

要求性能	品質項目	照査方法	試験値	品質規格値*	
中性化抑止性	中性化深さ (mm)	JIS A 1153 (4週間)	2	5mm以下	
付着性	付着強度 (N/mm ²)	JSCE-K 561 (乾湿・温冷 繰返し回数は 10サイクル)	標準条件	2.1	1.5N/mm ² 以上
			多湿条件	1.9	
			低温条件	1.8	
			水中条件	1.5	1.0N/mm ² 以上
			乾湿繰返し条件	1.6	
温冷繰返し条件	1.6				
一体化性	圧縮強度 (N/mm ²)	JSCE-K 561 (28日間養生)	39.8	21N/mm ² 以上	
寸法安定性	長さ変化率 (%)	JIS A 1129	0.048	0.05%以下	
耐摩耗性	摩耗深さ	水砂噴流摩耗試験材齢28日, 10時間)	1.25	1.5以下	
耐凍害性	相対動弾性係数	JIS A 1148 (A法300サイクル)	92	85以上	

* 農林水産省：農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】（案）
無機系被覆工法・断面修復工法に使用する材料・工法の品質規格（例）

試験項目		試験値	照査方法
フロー値		174	JIS A 1171
単位容積質量 (kg/L)		2.14	
圧縮強度 (N/mm ²)	材齢 5 時間	10.1	
	材齢 1 日	18.0	
	材齢 3 日	27.5	
	材齢 7 日	31.7	
	材齢 28 日	39.8	
曲げ強度 (N/mm ²)	材齢 5 時間	2.2	
	材齢 1 日	3.1	
	材齢 3 日	6.5	
	材齢 7 日	7.0	
	材齢 28 日	7.5	
吸水率 (%)		2.6	
透水量 (g)		2.3	

※上記は室内実験のため、現場の条件等により性能が多少変化する事があります。

練混ぜ

- 練混ぜ水には水道水またはこれに準ずる水を使用してください。
- 攪拌装置は練混ぜ性能の良いミキサを使用してください。
- 練混ぜ時間は3分間を標準とします。ただし、ミキサの性能及び季節によって異なりますので事前に確認してください。
- モルタルは練混ぜ時の粘性が大きいため、ミキサの選定にあたっては、全層にわたり攪拌するタイプを選定してください。
- 練混ぜ完了後は速やかに作業を行ってください。練混ぜ後、長時間放置しますと物性が変化し、所定の性能が得られない場合があります。
- ポリマーを製品中に内添しているため、練混ぜが不足すると、ポリマーが十分に溶解しないために所定の性能を発揮しない場合があります。

使用上の注意

- 材料は高温多湿な所を避けて、冷暗所に保管してください。
- 開封した材料は使いきるようにしてください。破袋した物や開封した状態で放置されているものは使用しないでください。
- 取扱いの際は保護手袋、保護マスク、防塵眼鏡などを着用し、皮膚に付けたり、鼻や口に入れないようご注意ください。
- 子供には触れさせないようご注意ください。
- 本製品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚・目・呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 目に入れないようご注意ください。万一入った場合は直ちに良く洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- 本製品および空袋を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。自然界への投棄は絶対にしないでください。